
シアワセのトキ?

Shin=Shin

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

シアワセのトキ？

【Nコード】

N8783U

【作者名】

Shin=Shin

【あらすじ】

シアワセってなんだろう？

“幸せ”とは何か、なんて考えたこともなかった。俺にとって“幸せ”などというものは何処にでもありふれていて、見ることできないものの程度の考えだ。実感できる瞬間に出会っていないからなのかもしれない。その中であえて言うならば、普段の生活を普段どおりに行えることこそ俺にとっての“幸せ”なのだと思う。

——楽しいこと、好きなことがある事が“幸せ”

友人は、俺にそう告げた。あながち間違えているとは思わない

——人はそれぞれ“幸せ”を違う形で持つているものだ

友人は、こうも俺に告げた。“幸せ”の定義を見出せない俺に。楽しいことを考えてみる。好きなことを考えてみる……

「好きなこと、か」

古臭い空気の充滿したコンクリート製の冷たく固い階段を一步一步下りてゆく。窓からさす日の光は紅く、そこから覗く空は既に蒼穹から黄昏へと色を変えている。教室の明かりも落ち、人の声も聞こえないところを見ると、恐らく残っている生徒は数える程度なのだろう。その中を俺は帰り支度を済ませて歩いている。

俺の好きなこと、考えてみれば好きなことなんて幾らでも浮かび上がってくる。群を抜いて楽しくて好きだと思ふものといえば、音楽だろうか。

決まって家にいるときは、親父から譲り受けた、くすんだ五円玉のような色をした古いトランペットを 自分の部屋で好んで奏でる。何度が母親から「うるさい」だの「よそ行ってやれ」だの揶揄されることも多々あるが、それでも楽しくて好きなのだから止めることはできない。

今日も例外なく、押入れから鈍色の革製ハードケースに納められた真鍮のピストン・トランペットを取り出し、部屋にこもる。

慣れ親しんだ金属の冷たい感触が指に浸透する。ピストンに手を

置き、まず手始めに「ぷう」と一度、軽く吹く。出たのは“ソ”の音だった。

次に、適当な曲目を何も考えずに吹くこととする。とはいえ吹ける曲がパッヘルベルの“カノン”しかないので、それを奏で始めた。お世辞にも上手いとはいえないだろう。楽譜も読めない俺が唯一父親から教わった曲。覚えがなくなるとも、幼いころからこの曲を聴いていたような気がする懐かしい感覚。

トランペットは腕の中で踊る。朝顔から発せられる透き通った金管楽器独特の音が部屋に広まった。気分がとていい、いつまでも吹いていたくなるこれ以上無いほどの充実感。

好きなこと、楽しいことをしているとこそ“幸せ”だという気持ち嫌というほどにわかる気がする。

——“幸せ”は、いつも身近にある

それに気付く、気付かないで“幸せ”は大きく変わる。

何気ないことが幸せ、好きなことをしている充実した時間こそ幸せ。

身近にあって、遠いものなのかもしれない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8783u/>

シアワセのトキ？

2011年10月9日11時32分発行